

今年の夏だから「サマーグッズ」(日本)

1. 「サマーグッズ」とは？

夏の季節特有のグッズを「サマーグッズ」と言います。例えば、団扇や扇子、浮き輪や麦わら帽子、サングラスなどです。これまで「サマーグッズ」と言えば、暑さをしのぐためのものが多かったようです。

2. 最近の動向

今、人気を集めている「サマーグッズ」は、クールビズ関連のものが多いようです。例えば、女性用の付け襟や男性用の小型の財布、そしてバッグです。

女性用の付け襟は、特に働く女性の間で人気を集めています。オフィスのエアコン温度が高めに設定されるなか、Tシャツやカットソーをオフィスで着る人が増えています。首元に巻いてジャケットを着れば、見た目は襟付きのブラウスに見える付け襟は、会議や会食の場で利用されています。

そして、男性の場合。クールビズで上着を着ないビジネスマンの悩みは、身の回りの小物を収める場所です。そこで人気が出ているのが、折りたためばワイシャツの胸のポケットに収まる小型で薄型の財布。大手百貨店では、品揃えも例年の2倍～3倍に増やし、売上高も伸びています。

そして、クールビズの装いにも似合うトートバッグやショルダーバッグなど、肩から掛けられる男性向けカジュアルバッグの売り上げも、前年比3割～4割増加の規模にまで達しています。



3. 今後の展開

今年の夏特有の「サマーグッズ」の人気は、急速に高まったため、一時は在庫不足や店頭の商品が一気に表面化しました。そこで百貨店など小売業界は、需要の高まりに対して供給が追いつかない「機会損失」を避けるため、さまざまな工夫を行っています。例えば、近隣店舗との商品のやり取り。また、休日と平日で来店客の属性が変わる店舗では、曜日ごとに品揃えを変えたりしています。このような売る側の努力も加わり、今年特有の「サマーグッズ」は、世の中に普及しています。

昨年の夏の猛暑でも、「クールビズ」やその関連グッズは、国内に幅広く普及しました。しかし、今年は節電や震災復興への対応といった違う目的で広がりを見せています。昨年までは、オシャレや機能性重視で広まった「サマーグッズ」、今年は皆の願いが込められています。

弊社マーケットレポート

検索!!

2011年08月01日【キーワード No.631】今年の夏だから「アフター4」と「ピフオア8」(日本)

2011年07月25日【デイリー No.1,006】最近の指標から見る日本経済(2011年6月)

☆本日の「マーケット・キーワード」のラジオ番組放送内容は、こちら!! ☆

■この資料は、情報提供に限定したものととして、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものでもありません。■この資料に基づいてとられた投資行動等の結果については、三井住友アセットマネジメントは一切責任を負いません。■この資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■この資料は、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■この資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者及び許諾者に帰属します。

【投資信託商品についてのご注意(リスク、費用)】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額は変動します。基準価額の変動要因としては、有価証券の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券の発行体の信用リスク等、及び外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがって、お客さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限3.675%(税込)
 - ・・・換金(解約)手数料 上限1.05%(税込)
 - ・・・信託財産留保額 上限0.5%
- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限1.995%(税込)
- ◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用、および外国における資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定しますので、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、上記同様の理由により具体的には記載できません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております(当資料発行日現在)。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等を必ずご覧ください。

三井住友アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

■この資料は、情報提供に限定したものととして、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものでもありません。■この資料に基づいてとられた投資行動等の結果については、三井住友アセットマネジメントは一切責任を負いません。■この資料の内容は発行日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■この資料は、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■この資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者及び許諾者に帰属します。



三井住友アセットマネジメント株式会社